

まちづくり推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

まちづくり推進課長
兼 鳥栖駅周辺整備推進室長 藤川 博一

①重点施策項目名	鳥栖駅周辺の利便性向上を図ります
②目標値	鳥栖駅利用者数 〔平成29年度〕14,000人 〔平成32年度〕14,500人
③今年度の取組方針	鳥栖駅周辺まちづくり基本計画を平成28年度中に策定する予定でありましたが、関係機関との調整に時間を要し、現在も策定作業中であります。この基本計画を7月中には策定を終え、事業化に向けた基本設計に着手します。
④上半期の取組内容	平成29年5月29日～6月23日 鳥栖駅周辺まちづくり基本計画（案）のパブリックコメント実施（17名の方から58件の意見が提出されました。） 平成29年7月 鳥栖駅周辺まちづくり基本計画策定 平成29年9月 鳥栖駅周辺施設（道路・交差点）基本設計業務着手
⑤下半期の取組内容	平成29年11月 鳥栖駅周辺地形測量着手 平成29年12月 駅舎・自由通路・駅前広場基本設計業務着手
⑥数値目標の結果	鳥栖駅利用者数 14,145人（平成28年度）
⑦成果と課題（次年度に向けて）	関係機関（周辺住民・店舗等／佐賀県／佐賀県警／JR九州）との合意形成

◇所管部長の指示

上半期

- ・基本設計策定に向け関係機関と十分協議・連携し推進すること。

下半期

- ・基本設計策定に向け関係機関と合意形成を図りながら着実に推進すること。また、情報発信に努めること。

まちづくり推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

まちづくり推進課長 藤川 博一

①重点施策項目名	秩序ある市街地の形成と土地利用の円滑化を図ります ○都市計画マスタープランの策定
②目標値	—
③今年度の取組方針	本年度から3か年をかけて都市計画マスタープランを策定します。これは、長期的な視点からのまちづくりの基本理念や都市の将来像を定め、土地利用や道路・交通体系、その他都市施設等に関する方針を定めるものです。 本年度は、検討材料とするための現状と課題の把握を行い、来年度と再来年度で全体構想・地区別構想を策定します。
④上半期の取組内容	平成29年5月 鳥栖市都市計画マスタープラン策定開始 平成29年8月18日～9月1日 市民アンケート調査（2,000通送付） 結果：739通回収 現在アンケート結果を精査中
⑤下半期の取組内容	市民アンケート結果集計・分析を終え、鳥栖市のまちづくりに関する課題整理を進めています。（平成30年2月の都市計画審議会で中間報告）
⑥数値目標の結果	—
⑦成果と課題（次年度に向けて）	宅建業や建築士会との意見交換を行いました。分野を広げた意見交換なども考えていく必要があります。

◇所管部長の指示

上半期

・都市計画マスタープラン策定に向け、土地利用構想及び将来道路網方針と十分連携し推進すること。

下半期

・都市計画マスタープラン策定に向け、土地利用構想及び将来道路網方針と十分連携するとともに、情報発信に努めながら推進すること。

まちづくり推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

まちづくり推進課長 藤川 博一

①重点施策項目名	秩序ある市街地の形成と土地利用の円滑化を図ります ○50戸連たん制度の運用
②目標値	—
③今年度の取組方針	市街化調整区域内の戸建て住宅の開発を緩和し、既存集落の維持・活性化を図るための「50戸連たん制度」の運用に向けた取組に着手します。平成29年度には、江島地区の区域指定手続きを進めます。
④上半期の取組内容	平成29年4月 区域指定基礎調査開始（江島町） 平成29年8月 指定区域現地調査 平成29年9月 指定区域案作成 平成29年9月 指定区域案の佐賀県協議
⑤下半期の取組内容	平成30年1月 江島町住民説明会（最終の区域案の提示） 平成30年3月 江島町総会（最終的な住民同意）
⑥数値目標の結果	—
⑦成果と課題（次年度に向けて）	来年度からの制度運用に向けて、宅建業等へのPR等で制度の周知を行い、事業効果を発現していく必要があります。

◇所管部長の指示

上半期

- ・区域指定に向け、関係機関と十分協議し推進すること。

下半期

- ・区域指定に向け、関係機関と十分協議し推進するとともに、制度の周知を図ること。